

[第882回ゼミ報告] 2024年6月21日号

双子のサクランボで収穫が減、それが可愛いと人気。梅の実も今年は少なかったとか。さて都知事選、50人以上立候補、こちらは多すぎるぞ…

6月12日のゼミは、斎藤幸平『マルクス解体』第1部「マルクスの環境思想とその忘却」の第3章「ルカーチの物質代謝論と人新世の一元論批判」を竹内さんの報告で行いました。環境問題への対処：何らかの二元論・単純な一元論批判が必要。方法的二元論：自然と人間・相互に影響関係：意志で変革可能。なぜルカーチか：西欧マルクス主義の出発点の代表的人物。マルクスの物質代謝の亀裂論：方法的二元論で環境危機分析の土台。『歴史と階級意識』：ソ連正統派マルクス主義への異議と誤解。弁証法を社会に限定：エンゲルスの自然への拡張避難。マルクス：自然と人間：連続性に関する一元論：物質代謝＝自然と社会のもつれ合い。1996年草稿発見『追従主義と弁証法』：存在論的二元論を回避し物質代謝概念の不可欠を主張。社会は自然から発生：自然弁証法をそのまま社会分析に適用できず。社会は自然法則だけでない：方法的二元論採用。資本主義：人と人の関係が物象化：第二の自然。環境危機批判としてのルカーチ恐慌論：社会的形態の物質的担い手：貨幣＝金。脱神話化：商品・貨幣・資本が資本の価値化論理で世界を変容：形態と素材の絡み合い。資本の価値増殖：生産と社会領域の合理化：主客逆転：物象化。斎藤：存在論的一元論と方法的二元論の両立：人間と自然の物質代謝：両者の根本的な一体化＝唯物論：過程・外観：社会歴史的媒介。

討論では、自然と人間：自然の有用性を人間が引き出す：石油化学の有用性を引き出す。時計：ゼンマイは鉄製、今では電子。進歩なき変化：宝石は何の役に立つのか、ダイヤモンド：美しいから、「絵」の値段、本の有用性。信号機の赤色の有用性。美的感覚：人間の本質を貫く。資本主義：物的生産で自然観が代わる。一元論・二元論、同一性と非同源性。エンゲルスの自然への拡張：社会に限定。進化論：適者生存の幅：知の形成。

会場参加は小野さん・川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は斎藤さん・竹内さん・後藤さん・田中(興)さん・井貝さん、合計9名の参加でした。

* 6月26日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 853 2300 3868 パスコード: 689267

* いよいよ6月26日ゼミから、佐々木隆治『資本論第3巻』角川選書が始まります。思っていたよりも分厚い本、760頁に！

***** ゼミ日程 *****

6月26日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
佐々木『資本論第3巻』第1章 利潤・利潤率への転化 報告:竹内さん

7月10日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
斎藤幸平『マルクス解体』第4章 一元論と自然の非同源性 報告:後藤さん

7月24日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
佐々木『資本論第3巻』第2章 利潤の平均利潤への転化 報告者未定

その後 9/11, 9/25, 10/9, 10/23, 11/13, 11/27, 12/11

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso